

(1) アンケート結果（速報）の概要

※10月1日時点回収分による集計結果であり、今後集計結果が変更になる可能性があります

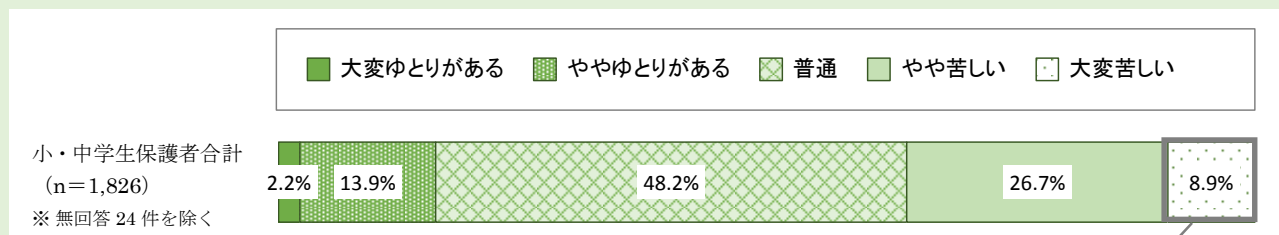
※割合について四捨五入して表記をしているため、足し合わせて100.0%にはならない場合があります

1. 保護者・家庭の状況

●1-1 生活困窮の状況等

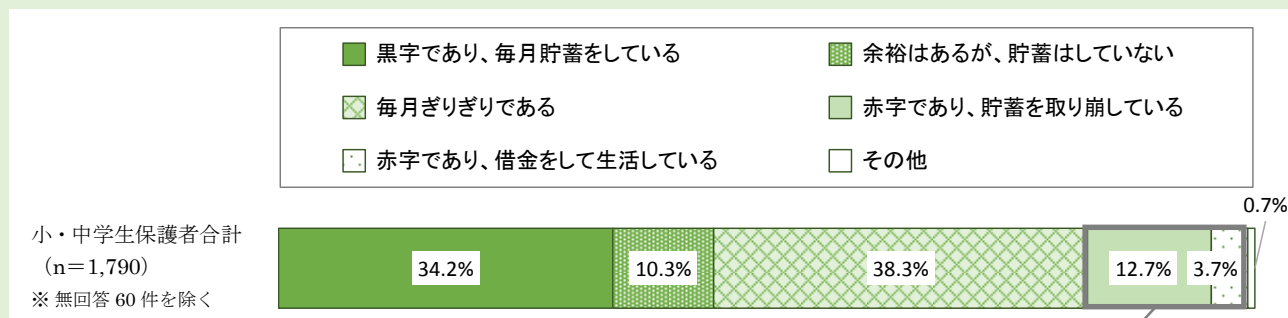
現在の暮らしの状況をどのように認識しているかについて、「普通」との回答が約5割と最も多くなっている一方で、8.9%の保護者が、「大変苦しい」と回答しています。また、家計の状況について、「毎月ぎりぎりである」との回答が約4割と最も多くなっている一方で、12.3%が「赤字であり、貯蓄を取り崩している」、3.6%が「赤字であり、借金をして生活している」と回答しています。

問28 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか



8.9%が「大変苦しい」と回答

問29 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください

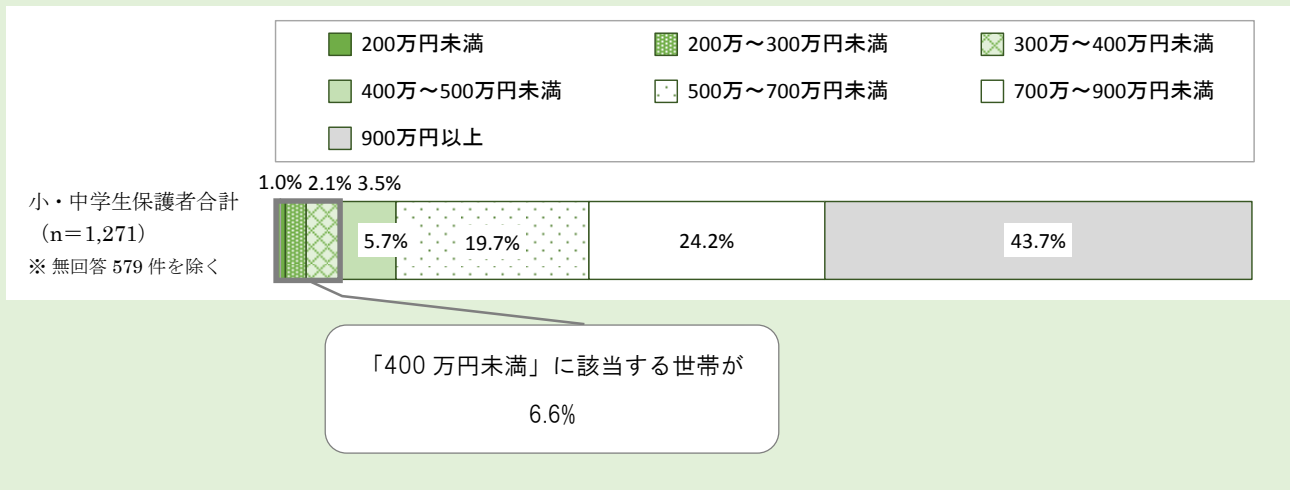


16.4%が「赤字である」と回答

●1-2 世帯収入の水準

世帯の年間収入（2017年1月～12月、税込額）について、「900万円以上」が約4割と最も多くなっています。6.6%の世帯が「400万円未満」となっています。

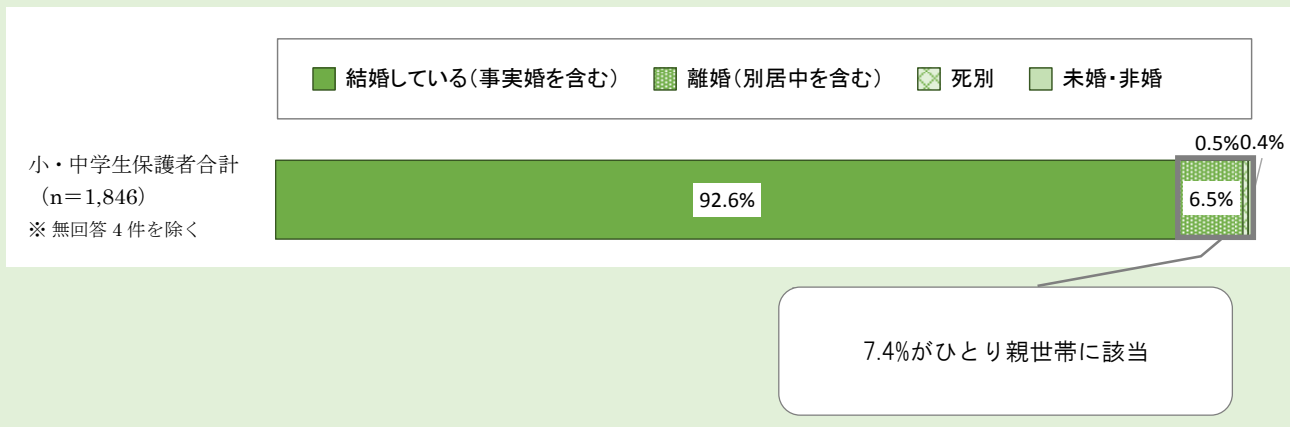
問 27 昨年1年間の世帯収入



●1-3 世帯の構成

回答者の現在の婚姻状況について、約9割が「結婚している（事実婚を含む）」となっており、7.4%が離婚、死別、未婚・非婚と、「ひとり親」に該当する状況にあります。

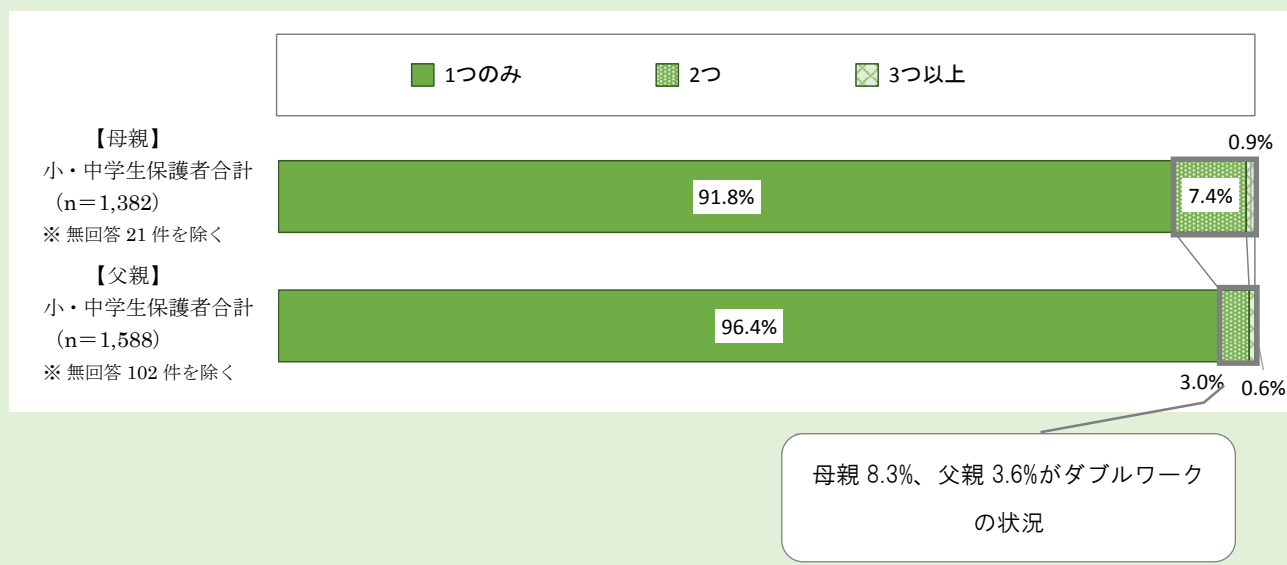
問 4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください



●1-4 就業の状況（ダブルワークの状況）

子どもの母親について、現在仕事をしている人のうち、「2つ」の仕事をしている人が7.4%、「3つ以上」の人が0.9%であり、合わせて8.3%の人が複数の仕事を掛け持ちしている状況にあります。同様に、子どもの父親について、現在仕事をしている人のうち、「2つ」の仕事をしている人は3.0%、「3つ以上」の人は0.6%となっています。

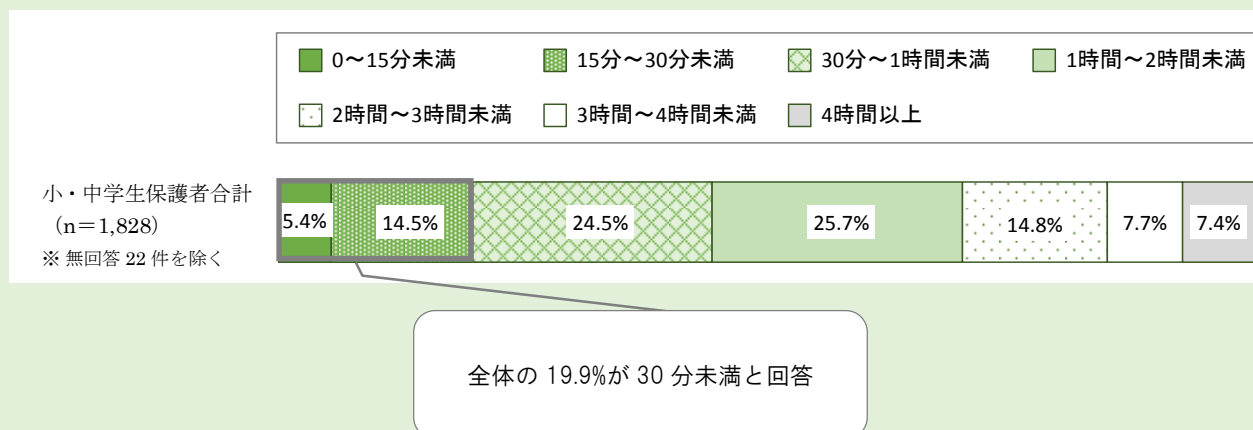
問13 現在の仕事の数



●1-5 子どもと過ごす時間

平日1日あたりどれくらい子どもと一緒に過ごしているかについて、「1時間～2時間未満」との回答が最も多く、「30分～1時間未満」との回答も同程度となっています。5.4%の人が「0～15分未満」、14.5%の人が「15分～30分未満」と回答しています。

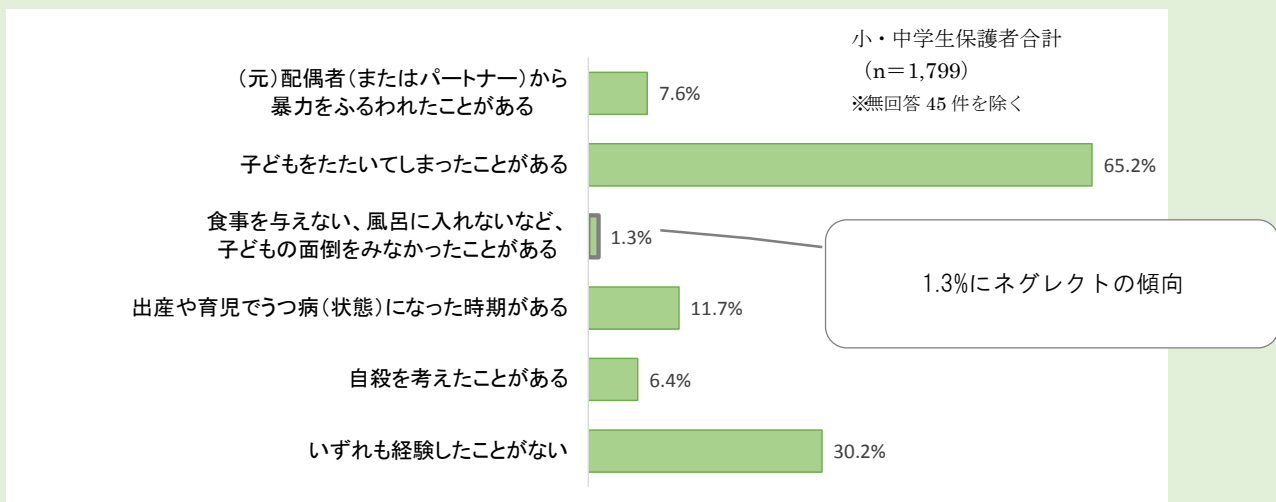
問15 あなたが子どもと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、平日1日あたりどれくらいですか



●1-6 虐待・ネグレクトの傾向

子育てを始めてからの経験として、「子どもをたたいてしまったことがある」との回答は6割以上となっている一方で、1.3%が「食事を与えない、風呂に入れれないなど、子どもの面倒をみなかったことがある」と回答しています。また、6.4%が、「自殺を考えたことがある」と回答しています。

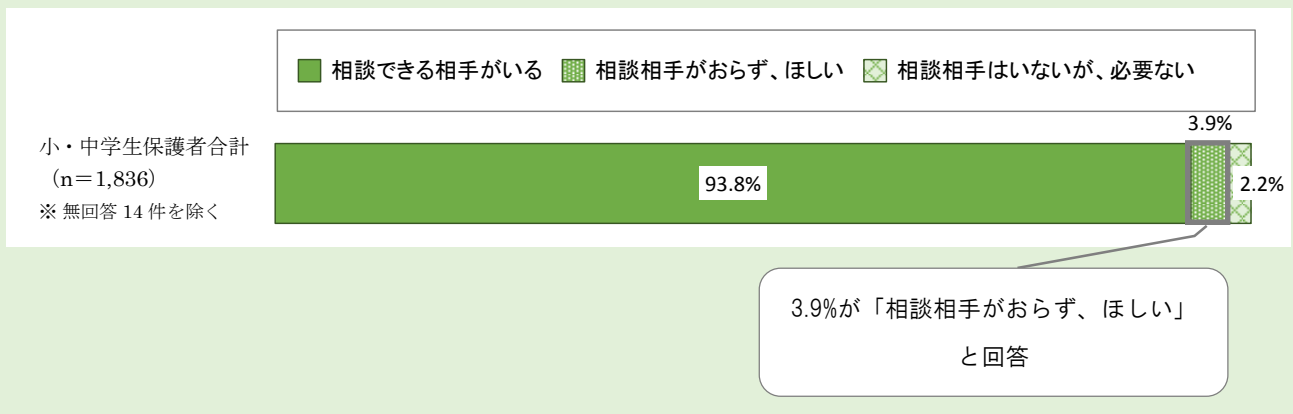
問40 あなたは、お子さんの子育てを始めてから、以下のような経験をしたことがありますか
(複数回答)



●1-7 相談相手の有無

本当に困ったときや悩みがあるときに相談できる人がいるかについて、9割以上の方は「相談できる相手がいる」と回答していますが、3.9%の方は「相談相手がおらず、ほしい」と回答しています。

問9 本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか

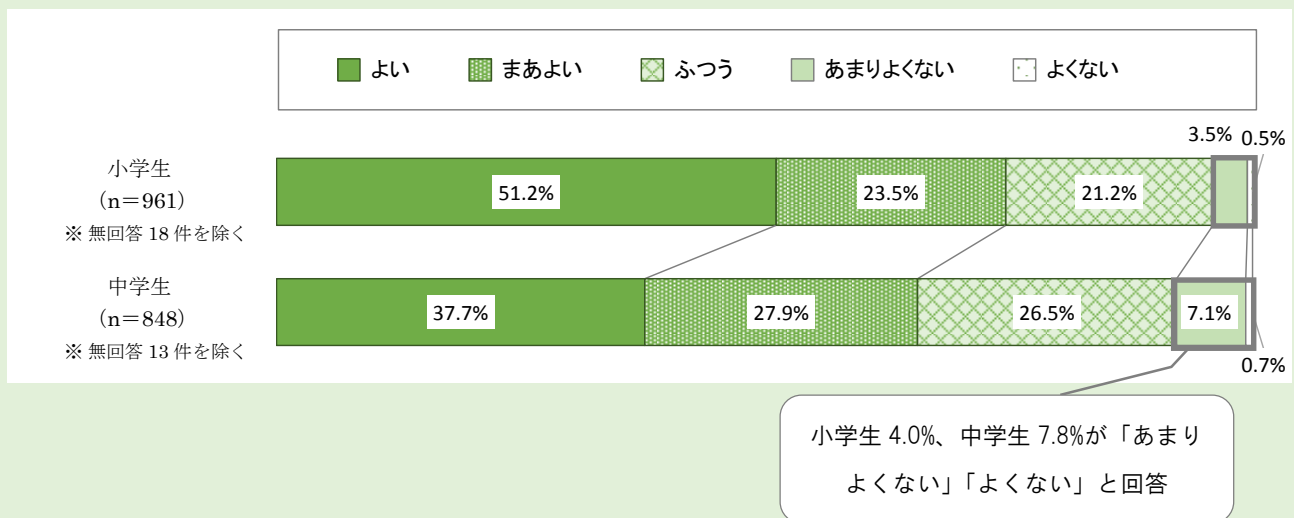


2. 子どもの状況

●2-1 健康状態

自分自身の健康状態について、小学生では約 5 割、中学生では約 4 割が「よい」と回答しています。他方、小学生では 4.0%、中学生では 7.8%が、「あまりよくない」または「よくない」と回答しています。

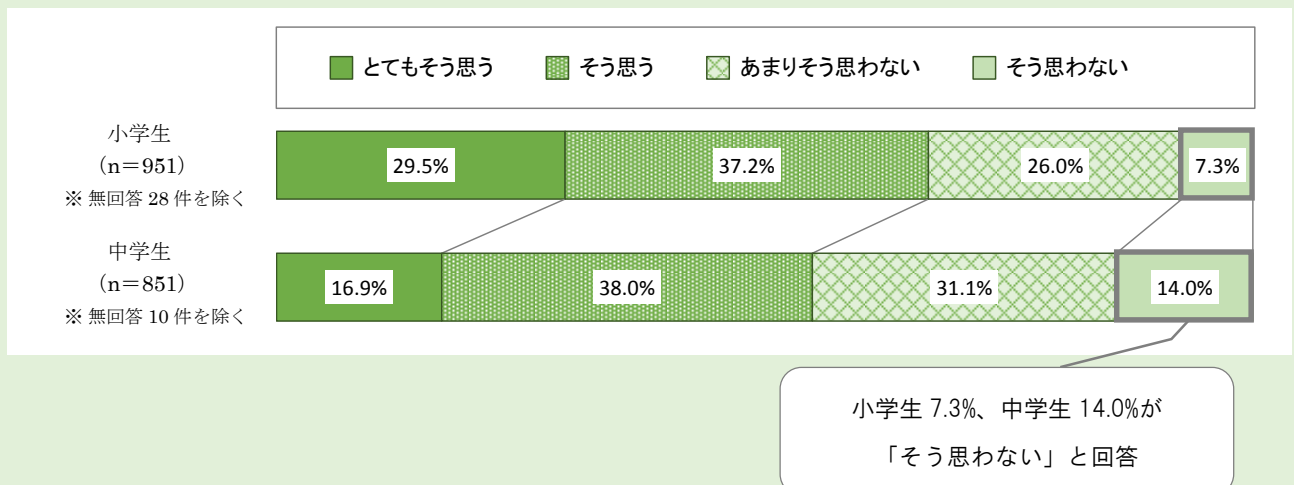
問 8 あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか



●2-2 自己肯定感

「今のままの自分が好きだ」ということについて、「とてもそう思う」または「そう思う」との回答は、小学生では 6 割以上、中学生では 5 割以上となっています。他方、小学生では 7.3%、中学生では 14.0%が「そう思わない」と回答しています。

問 33 今のままの自分が好きだ



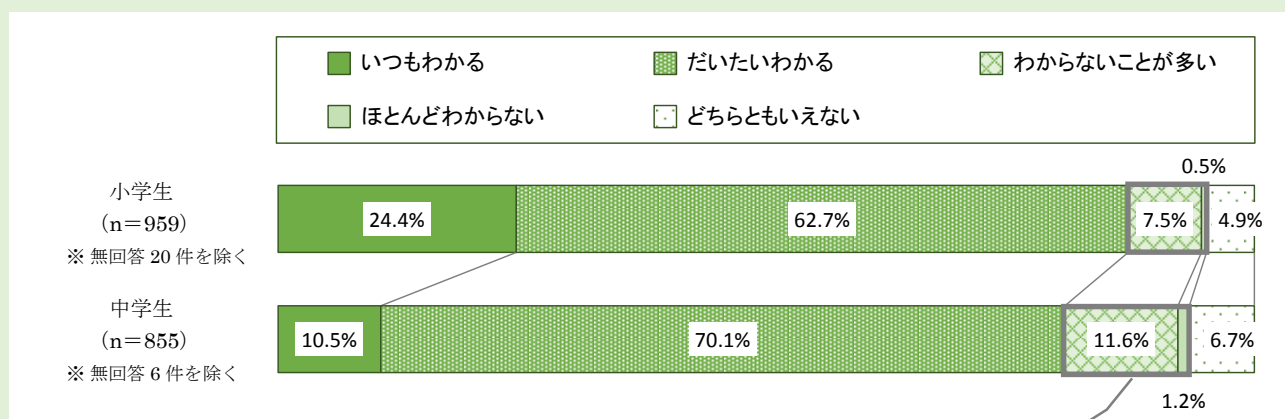
●2-3 学習の状況

学校の授業がわからないことがあるかについて、小学生・中学生ともに「だいたいわかる」との回答が最も多くなっています。他方、小学生では、「わからないことが多い」が7.5%、「ほとんどわからない」が0.5%、中学生では「わからないことが多い」が11.6%、「ほとんどわからない」が1.2%となっています。

「わからないことが多い」または「ほとんどわからない」と回答した子どもに関して、いつごろから授業がわからなくなったかについては、小学生では「4年生のころ」との回答が最も多くなっています。中学生では、「中学1年生のころ」との回答が最も多くなっています。

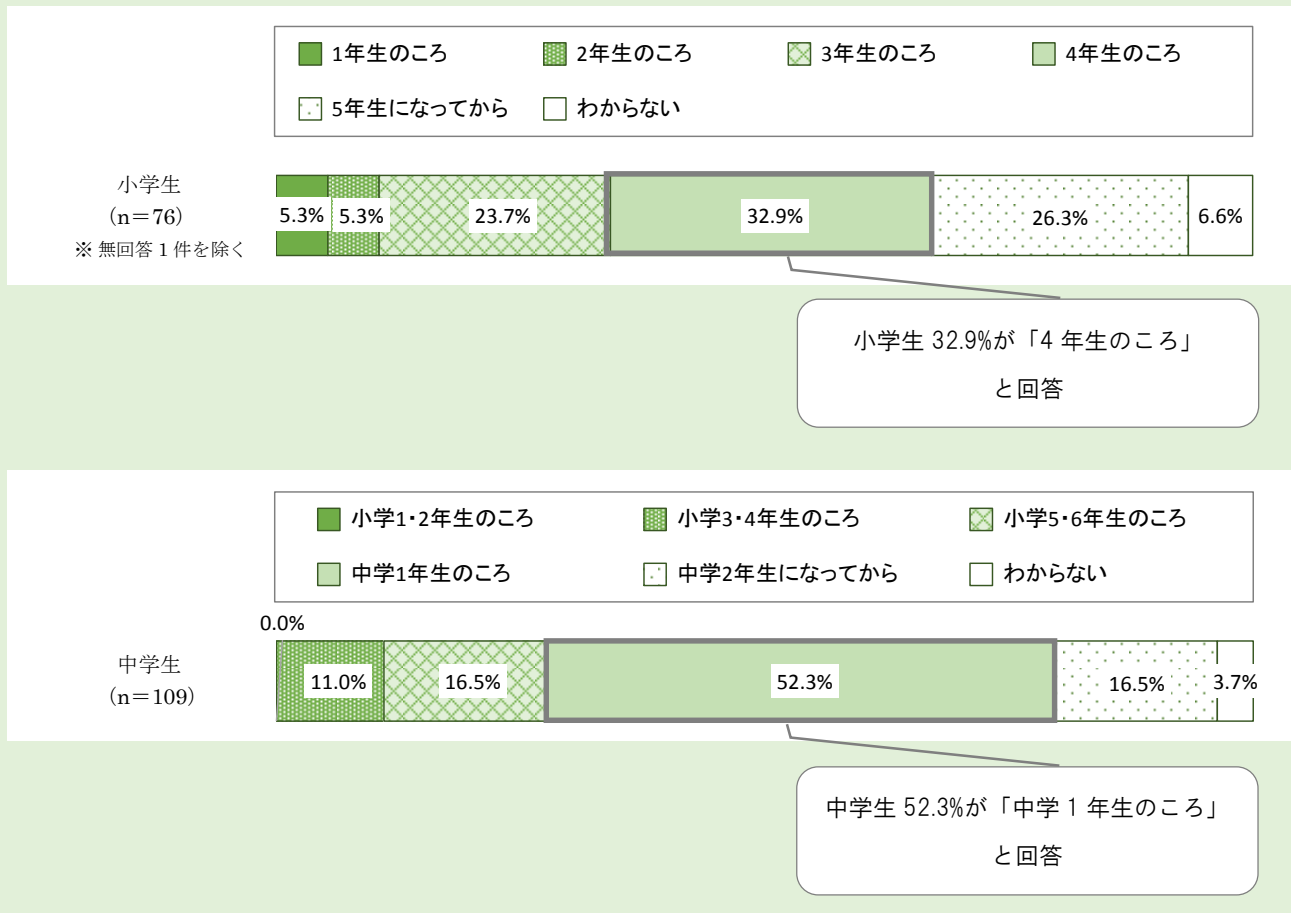
なお、授業をしっかりと聞いているのに内容がわからなくなったときの原因をどのように考えるかについては、小学生・中学生ともに「自分の努力が足りないから」との回答が最も多くなっています。

問 30 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか

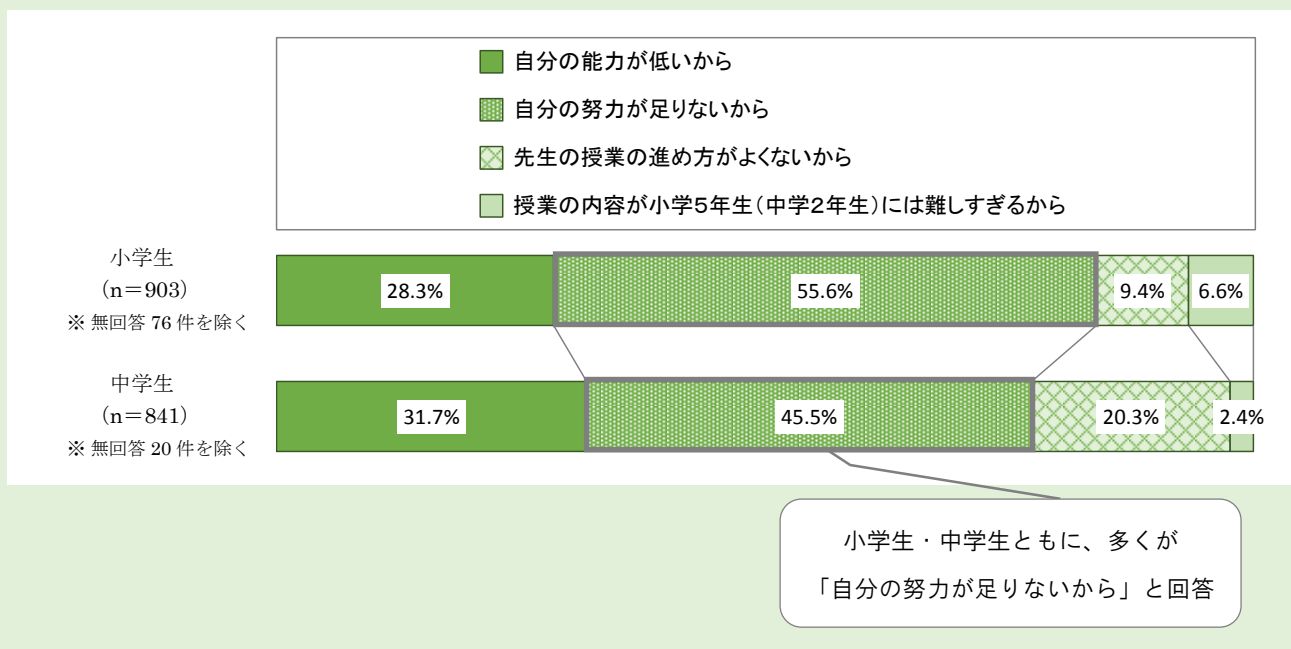


小学生 8.0%、中学生 12.8%が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答

問 30-1 いつごろから、授業がわからなくなりましたか



問 35 もしあなたが授業をしっかり聞いているのに内容がわからなくなったら、その原因は何ですか

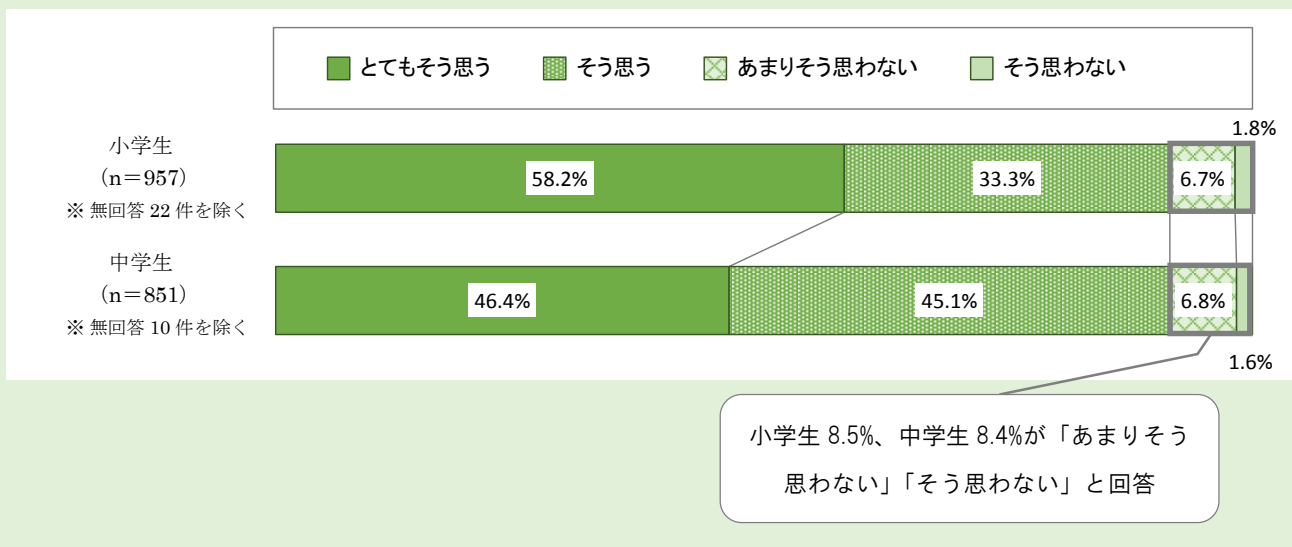


●2-4 保護者・友だちとの関係

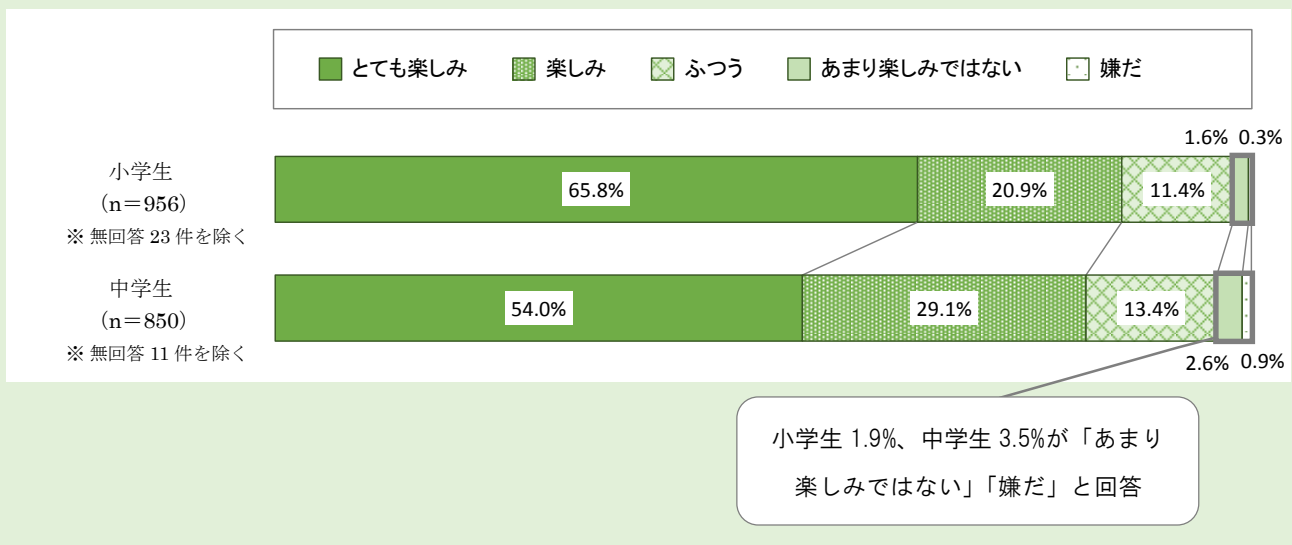
「自分は家族に大切にされていると思う」ということについて、小学生では5割以上、中学生では4割以上が「とてもそう思う」と回答しています。他方、小学生では8.5%、中学生では8.4%が「あまりそう思わない」または「そう思わない」と回答しています。

また、学校生活のことに関して「友だちに会うこと」をどのように考えているかについて、小学生では6割以上、中学生では5割以上が「とても楽しみ」と回答しています。他方、小学生では1.9%、中学生では3.5%が「あまり楽しみではない」または「嫌だ」と回答しています。

問 33 自分は家族に大切にされていると思う



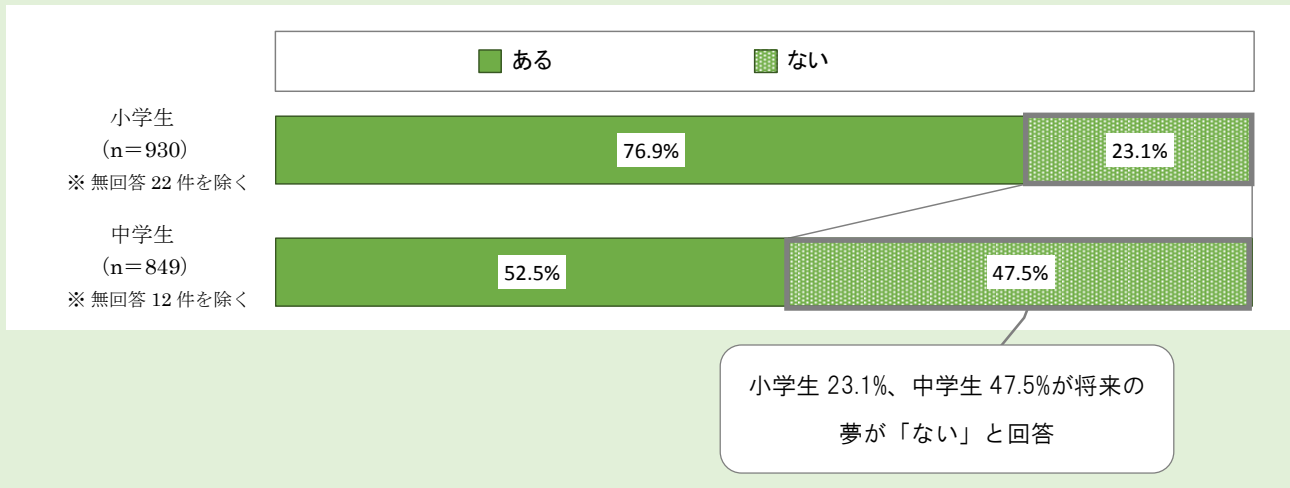
問 25 友だちに会うことが楽しみか



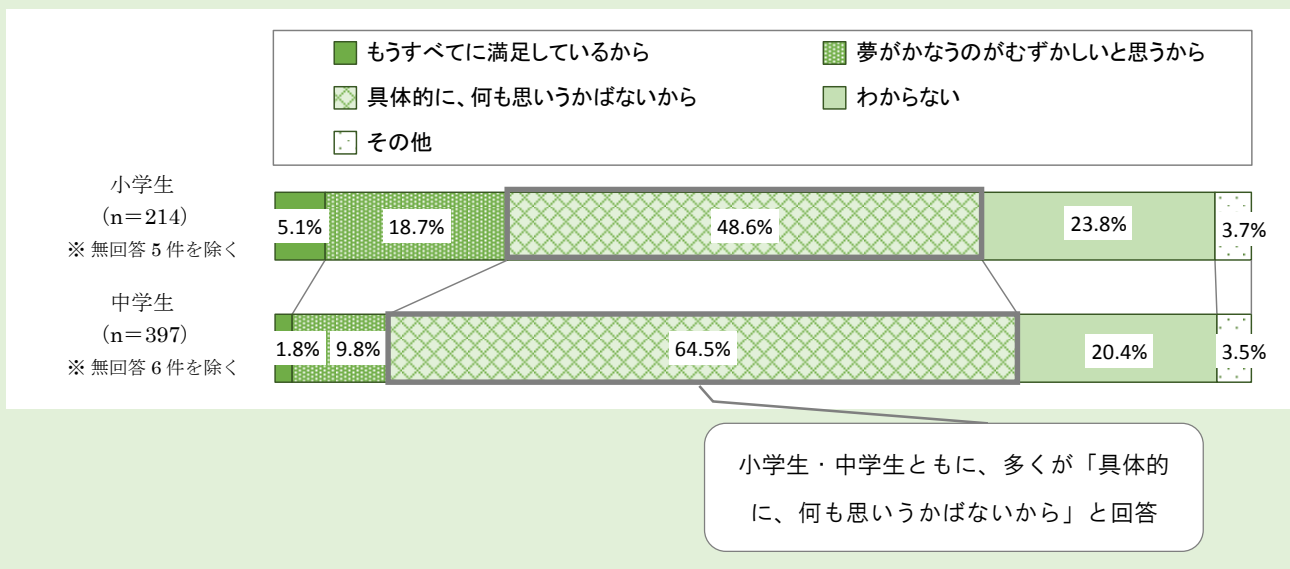
●2-5 将来の夢

将来の夢があるかについて、「ある」と回答したのは小学生では76.9%、中学生では52.5%となっています。将来の夢が「ない」と回答した子どもに関して、夢がない理由としては、小学生・中学生ともに、「具体的に、何も思いうかばないから」との回答が最も多くなっています。

問 15 あなたは、将来の夢がありますか



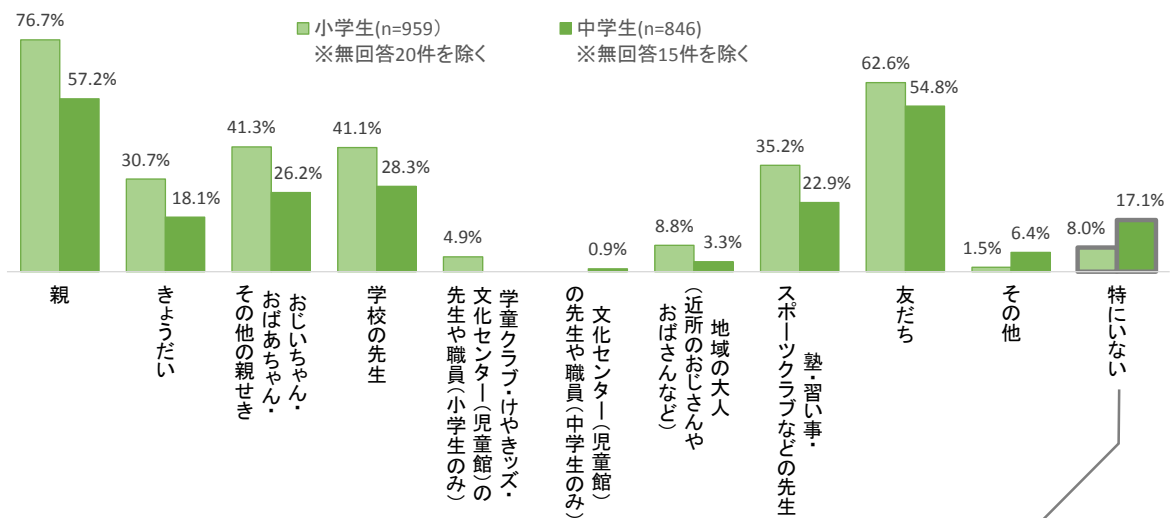
問 15-2 夢がない理由は何ですか



●2-6 尊敬できる人

まわりで尊敬できる人は誰かについて、小学生・中学生ともに「親」との回答が最も多く、次いで「友だち」の回答が多くなっています。他方、小学生では 8.0%、中学生では 17.1%が「特にない」と回答しています。

問 13 あなたのまわりで尊敬できる人は誰ですか（複数回答）



小学生 8.0%、中学生 17.1%が「特にない」と回答